

「西日本豪雨」上鳥羽学区避難所開設

自主防災会会長報告

7月5日 (木)	<p>平成30年7月5日 南区役所防災本部から大雨による、鴨川、桂川の水位上昇のため河川氾濫の危険があるとの連絡を受け、上鳥羽学区自主防災会は指定避難先である上鳥羽小学校西校長に、小学校に「避難所開設」事前準備の連絡を入れ準備を開始した。(14:50)</p> <p>小学校校門前に「学区避難所開設」の看板を設置し、玄関前に受付所を設け、水害時の「避難場所」となっている2階図書室を開室した。</p> <p>その後、南区役所防災本部に「避難所設置」事前準備完了の報告を入れた後待機した。南区役所防災本部から上鳥羽学区に避難指示が発令されたとの報告を受け(21:23)、小学校において役員が手分けして自治会名簿の各町内会長(防災部長)に対し、避難所開設と避難者の受け入れについての連絡事項を約1時間かけて連絡した。</p> <p>最初の避難者の来所から合計13名の方が避難してきた。</p> <p>この間、順次小学校に保管してある災害備品の毛布、シートを避難者に配布した。避難者の中には子犬をキャリーケースで連れて来所した方がいたので、学校長と相談して避難者とは別の避難場所を図工室に設け避難させた。(20:48～23:09)</p>
7月6日 (金)	<p>避難者は順次帰宅した。(5:14～5:33)</p> <p>その後も指示・勧告が継続していたので役員は引き続き小学校に待機した。その後、南区役所防災本部から日吉ダムの放流にともない河川が危険水域まで上昇するとの連絡が入る(18:30)。避難者が来所(合計4名)したので、受付を行い図書室に案内した。(15:10～21:11)</p> <p>その後、避難者は帰宅した。(23:00)</p>
7月7日 (土)	<p>南区役所防災本部から水位が下がり氾濫の危険がなくなったとの報告を受けた。(2:30)</p> <p>避難所閉鎖のための片付けを始め、毛布、シート、看板、机、椅子、備品を整理、整頓し、避難所の照明、施錠を小学校村上教頭と確認し上鳥羽学区避難所を閉鎖した。(3:50)</p>

避難所開設期間：7月5日～7月7日未明

避難者総数：18名

協力人員：小学校3名、自治連合会7名、消防団29名

